

「書道Ⅰ」	教科	芸術	単位数	単位
	学科、学年、組	環境科学・情報デザイン科、1学年、5.6組		
使用教科書	「書道Ⅰ」(教育出版株式会社)			
副教材等	硬筆レッスン帳(教育図書)			

1 科目のねらい(目標)

学習の到達目標	<p>書道の幅広い活動を通して書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。</p> <p>(3)主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
---------	--

2 評価の観点、内容及び評価方法
 皆さんの学習状況は、以下の観点についてそれぞれABCで評価し、各観点の割合を基に評定(5段階)で総括します。
 評価の規準 A:十分満足できる、B:おおむね満足できる、C:努力を要する

評価の観点及び内容		観点の割合	評価方法
知識・技能	書の表現方法を幅広く理解している。 書写能力を向上させるとともに、作品制作のための技能を身付けている。	35	作品
思考・判断・表現	書の美しさを感じ、書文化の意味や価値を捉え表現を工夫することができる。	35	作品
主体的に学習に取り組む態度	書を愛好し、意欲的・主体的に書の表現や鑑賞活動に取り組んでいる。	30	授業での取り組み、作品

3 学習計画

学期	学習内容	学習のねらい
1	漢字の書Ⅰ 楷書、行書、隷書 ～古典臨書を通して～	<ul style="list-style-type: none"> 古典臨書の意味や方法を理解し、書の用具を丁寧に扱う態度を養う 唐と北魏の楷書を比較し、特徴を理解し、用筆を学び表現する。 楷書と行書、隷書を比較しつつ学び表現する
2	臨書作品制作 漢字の書Ⅱ 篆書、草書 篆刻 落款印制作 仮名の書Ⅰ 仮名の用筆の基本と平安古筆の臨書	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の書Ⅰの内容をふまえ条幅作品制作を通して表現の工夫をする。 篆書と草書の特徴をふまえ表現する。 篆刻の工程について理解し、自身の姓名の古文字を調べ漢字の成立に触れつつ、落款印を刻す技法を習得する。 仮名用筆の習得 ・仮名单体、連綿、変体仮名について理解し、古筆中の和歌を臨書する。
3	仮名の書Ⅱ 散らし書きと作品制作 漢字かな交じりの書	<ul style="list-style-type: none"> 仮名の散らし書き表現を学び、平安古筆を基に散らし書きの構成で臨書作品を制作する。 漢字と仮名の書の学習を基に用筆や構成を工夫し、漢字かな交じりの書の作品を制作する。